⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、１兆1,737億円の受取超過であって、前年同期（1,839億円の受取超過）に比べ、9,898億円受取超過額が増加した。収入は、前年同期（5,365億円）に比べ、３兆3,015億円増加して３兆8,380億円となった。一方、支出は、前年同期（3,526億円）に比べ、２兆3,117億円増加して２兆6,643億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

社会資本整備事業の収支は、収入3,182億円、支出１兆1,737億円、差引き8,555億円の支払超過であって、前年同期（１兆395億円の支払超過）に比べ、1,840億円支払超過額が減少した。

保険の収支は、収入８兆6,287億円、支出16兆7,971億円、差引き８兆1,683億円の支払超過であって、前年同期（８兆8,949億円の支払超過）に比べ、7,265億円支払超過額が減少した。

３　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成24年度第１・四半期			前年同期		
	発行(借入)	償還	差引き	発行(借入)	償還	差引き
国債等	327,806	182,848	144,959	308,140	182,966	125,174
国債(１年超)	318,277	182,537	135,740	307,588	182,633	124,955
借入金	9,529	311	9,218	552	333	219
国庫短期証券等	1,082,951	1,073,229	9,723	999,528	942,641	56,887
国庫短期証券	967,451	957,729	9,722	884,028	832,641	51,387
一時借入金	115,500	115,500	0	115,500	110,000	5,500

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は14兆4,959億円の受取超過であって、前年同期（12兆5,174億円の受取超過）に比べ、１兆9,785億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行31兆8,277億円、償還18兆2,537億円、差引き13兆5,740億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入9,529億円、償還311億円、差引き9,218億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、9,723億円の受取超過であって、前年同期（５兆6,887億円の受取超過）に比べ、４兆7,165億円受取超過額が減少した。国庫短期証券の収支は、発行96兆7,451億円、償還95兆7,729億円、差引き9,722億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,500億円、償還11兆5,500億円、差引き０億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 54,416	△ 67,723	△ 122,139
特別会計等	△ 78,812	△ 9,004	△ 87,816
財政投融資	2,234	△ 20,964	△ 18,730
社会資本整備事業	△ 8,555	4,210	△ 4,345
外国為替資金	11,737	△ 868	10,869
保険	△ 81,683	79,199	△ 2,485
その他	△ 2,546	△ 70,580	△ 73,126
小計	△ 133,228	△ 76,727	△ 209,955
国債等	144,959	△ 9,219	135,740
国債（１年超）	135,740	△ 8,950	126,790
借入金	9,218	△ 268	8,950
国庫短期証券等	9,723	85,946	95,668
国庫短期証券	9,722	86,981	96,703
一時借入金	0	△ 1,035	△ 1,035
合計	21,453	—	21,453
調整項目	△ 2,146	—	△ 2,146
総計	19,307	—	19,307

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成24年度第１・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 11,121	△ 15,457
特別会計の債券売・買(△)	30,758	30,923
財政投融資	19,890	28,380
国債整理基金	10,868	2,543
その他	△ 46,019	△ 40,774
計	△ 26,382	△ 25,308

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、２兆6,382億円の支払超過であって、前年同期（２兆5,308億円の支払超過）に比べ、1,074億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達５兆361億円、資金返済６兆1,482億円、差引き１兆1,121億円の支払超過であって、前年同期（１兆5,457億円の支払超過）に比べ、4,335億円支払超過額が減少した。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買の状況をみると、３兆758億円の受取超過であって、前年同期（３兆923億円の受取超過）に比べ、165億円受取超過額が減少した。財政投融資は、１兆9,890億円の受取超過であって、前年同期（２兆8,380億円の受取超過）に比べ、8,490億円受取超過額が減少した。国債整理基金は、１兆868億円の受取超過であって、前年同期（2,543億円の受取超過）に比べ、8,325億円受取超過額が増加した。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、４兆6,019億円の支払超過であって、前年同期（４兆774億円の支払超過）に比べ、5,245億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（１兆9,307億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（2,146億円の支払超過）を除いた収支は、２兆1,453億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、２兆6,382億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（１兆8,351億円）に比べ、4,929億円減少して１兆3,422億円となった。